

平成28年 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年(H28)の傾向

総評・講評(大問毎に)

文系

1 (平面ベクトル)

科交座標の問題。受験生が苦手としているところである
差がつくと思われる。

2 (微分積分)

標準問題で得点に(っか)と差が出る問題である。

3 (場合の数)

オと立てるのは楽であると思われる。今回の試験では一番の易。
完答したい。

4 (平面図形)

(2)のこのような問題は気がつかなくて冷静さを欠く物である。高校入試
レベル(?)

総評

易から標準くらいの問題が出題されている。易問を見つけ
そこから解いていくことを考えて試験にのぞく。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【文系】

文学部	50 %	保健／看護	50 %
教育学部	50 %		
法学部	60 %		
経済学部	55 %		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

標準的な問題集を1冊仕上げよう。特に、確率、ベクトル、微分積分の分野は毎年出題されてくるので特に念入れに仕上げよう。